

# 痴呆にならない自信はありますか？

もし、痴呆になった時、本人はともかく、配偶者や子供達の負担の重さは想像以上のものがあります。又、すでに両親のお世話をしている場合もあると思いますので、痴呆とはどんな病気てどんな救済の制度があるかご存知の方もいると思いますが、次に一応の説明をしておきます。

## 症状特徴は-----

孤独、混乱、自信喪失、記憶障害、見当識障害などがあります。

環境の変化に弱く、自分がなじみのない場所に行くと、パニックを起こし、症状が悪化すると云われています。

## 介護施設としてのグループホーム

重度症状を持った痴呆の人は、家庭でケアするというのは、大変な負担なので出来れば施設に入れたい、入りたい、という希望者が増えています。いろいろな問題があつて、簡単にいかないのが、日本の現状の様です。



## グループホームとグループハウス

よく似た言葉ですが、次の様な違いがあります。

大まかな違いは、高齢者の痴呆性老人にしかグループホームの利用を認めないのに対し、グループハウスは別表の通り、お互いが自立しながら共同生活をしてゆこうというシステムです。風の会はグループハウスについてもう少し情報を集め、実践活動に活かしてゆきたいと思っています。

別表：グループホームとグループハウスの違い

	グループホーム	グループハウス(グループリビング)
現状について	2000年3月現在の厚生省発表によると「痴呆性老人向けグループホーム」の数は、約300ヶ所・156万人の痴呆症のお年寄りがあるため、600人の内、たったの一人しかグループホームを利用できません。その上「グループホームは住宅サービスになるので、家賃と食事は全額負担」となるのでとても割高になります。	自主的にグループで一緒に住もうと言うものです。核家族化した現在では、独居高齢者世帯が急増しています。これからの高齢化社会に必要な住まいとしてグループハウスは新しい人生、新しい社会を作るきっかけと成るのではないのでしょうか？
入居資格	介護度1以上の痴呆高齢者	自立的な生活ができる独居や夫婦の高齢者が中心
目的	家族を介護から解放する。残っている能力を使って共同生活をする。	お互いに助まし助け合って、安心して暮らせるよう共同生活をする。孤独等の不安の解消。
制度利用	介護保険制度が利用できる(痴呆対応型共同生活介護)	介護保険の対象者は生活支援サービス、および介護サービスを受ける。
施設	5~9人でヘルパーなどの介護を受けながら共同生活をする、回らんのスペースがある。	個人の家を改造して使う場合や、気の合う仲間同士が集まって、建築から考える場合など、ケース・バイ・ケース。プライバシーが守れる部屋(ｽｰｽ)がある。回らんのスペースがある。食事や風呂は共同。
日常	それぞれの症状により食事介助・入浴介助等の介助を介護を受けながら生活する	食事作りや共有部分の掃除などは、互いに助け合って共同作業をする。

## 会員紹介

小池 喜四雄さん

生きたい情報士

健康生きたいアドバイザー

あなたは今生きがいを感じていますか？平均寿命が世界一の日本人は生きがいの感じ方も世界一なのではしょうか？

高齢社会の到来に伴って、健康問題や就労、年金、介護、老人医療などと共に、生きがいづくりへの関心が、高まっています。特に団塊の世代から高齢期にわたって、健康と生きがいづくりは不即不離、大変重要なテーマとして関心が寄せられています。この世代が高いQOL(生活の質)を確保・維持してゆくには、早い時期からの備えが必要となってきています。

ところが、都市型のサラリーマンが中年に、さしかかった場合、会社の仕事だけが生きがいという生活スタイルが長かったため、仕事を失うと生きがいまでも無くしてしまうという状態になりかねません。IT時代と言われ、リストラや職場転換などに遭遇した人はなおさらこの傾向が顕著となります。現役時代から、社会参加や生涯学習に目を向け、いかに必要な人生設計をし、実現してゆかかが問われるようになってきています。会社人間から、地域社会人間へのソフトランディングが、要求されるのです。

高度情報の時代と言われる現代は、生きがいに関する情報が多種多様、広範な領域にわたって存在しています。これらの情報をニーズにあわせて整理し、必要とされる中高年以降の世代に向けて提供し、生きがいづくりのサポートをするのが「生きたい情報士」の役割なのです。現在、医療関係の学校においても資格認定のためのカリキュラムが準備され、講義が始まっています。

私は、「健康生きたいアドバイザー」であり、今回「生きたい情報士」の登録講師として、「健康生きたい財団」(厚生労働省所管)から認定を受けました。数少ない全国の仲間と活躍していく事になりました。



「風の会」ホームページ紹介

## ターミナルサポート

人生のフィナーレ、それは避けては通れないにもかかわらず、どこに相談していいのか難しいのも現実です。「風の会」の「ターミナルサポート」では、物質的、精神的の両面から、皆様に安心していただけるサポート体制を確立するべく取り組んでおります。

### Welcome



### 墓所供養について



メモリアル場所は生者のためにあります

### 葬儀準備チェックリスト

人を葬送する大変さを、予め知っておきましょう



### 法律相談窓口



今からでも早くない残った者が困らないために

人生のソフトランディングを考えてみませんか？



### 思い出の記念品づくり

・自分史づくり  
オリジナルホームページを制作しませんか？  
・メモリアルCD  
あなたの作詞がCDに



### 癒しのカウンセリングルーム



喪失感の癒し  
親身になって相談にのってくれば、と思うことがあります